

第二次世界大戦中、加西市の鶉野台地に姫路海軍航空隊基地と川西航空機鶉野工場が造られました。

当時の基地関連施設であった滑走路やコンクリート製防空壕・機銃座などが、今もなお数多く残り、戦時の面影を伝えています。このような戦争遺産がまとまって残っていることはまれであり、全国的に見ても貴重な歴史遺産といえます。

加西市は、財務省からの払い下げを受け、これらの貴重な戦争遺産を後世へ残し、鶉野飛行場跡地を観光・平和学習施設や防災拠点として、順次整備します。

広報かさい別冊では、鶉野飛行場跡地が今日までたどった歴史を振り返ります。

貴重な戦争遺産を 後世へ



戦後間もない頃の鶉野飛行場全景（昭和 23 年撮影、米軍撮影空中写真より抜粋 国土地理院蔵）